

シンポジウム 明日の富士山を考える

世界文化遺産・富士山の自然と歴史的文化的価値を後世に残していくため、いま私たちができること、すべきことは何でしょう。

富士山をより良い姿で未来につないでいくために、一緒に考えてみませんか。

日時

2022年11月16日(水)

18:00~19:30 (開場 17:30)

場所

ふじさんホール

(富士吉田市緑ヶ丘2-5-23)

定員

400名

(参加無料・事前申込制)

山梨県からの報告

パネル ディスカッション

「富士山の現状と課題」

■テーマ

「富士山の保全と観光のあり方を考える」

■コーディネーター

小田 全宏 氏 (認定NPO法人富士山国民会議 運営委員長)

■パネリスト (五十音順)

岩村 敬 氏 (一般財団法人環境優良車普及機構 会長)

小佐野昇一 氏 (富士山五合目観光協会 会長)

織 朱實 氏 (上智大学大学院地球環境学研究科 教授)

藤井 敏嗣 氏 (山梨県富士山科学研究所 所長)

堀内 茂 氏 (富士吉田市長)

山本 清龍 氏 (東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授)

登壇者プロフィール

小田 全宏 (おだ・ぜんこう) 氏
認定NPO法人富士山国民会議運営委員長



滋賀県生まれ。東京大学法学部卒業後、松下政経塾入塾。1991年(株)ネッサンス・ユニバーシティ設立。2003年から、故中曽根康弘元総理を会長に迎えNPO法人「富士山を世界遺産にする国民会議」の運営委員長に就任し、2013年の世界遺産登録に貢献。

岩村 敬 (いわむら・さとし) 氏
一般財団法人環境優良車普及機構 会長



兵庫県生まれ。東京大学法学部卒業後、運輸省入省。航空局長、運輸政策局長、大臣官房長、総合政策局長、国土交通審議官などを歴任し、2004年7月～2005年8月国土交通事務次官。関西国際空港(株)取締役会長等を経て2013年から現職。

小佐野 昇一 (おさの・しょういち) 氏
富士山五合目観光協会 会長



富士吉田市生まれ。有限会社こみたけ売店代表。2020年から現職。また同年から、一般社団法人富士五湖観光連盟 副会長、富士スバルライン自主防災協議会会長。

織 朱實 (おり・あけみ) 氏
上智大学大学院地球環境学研究科 教授



米国インディアナ州生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士課程修了。2015年から現職。中央環境審議会自動車排ガス総合対策小委員会委員、小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員等、公職多数。専門は環境法全般（大気、水質、土壌、環境アセスメント、生物多様性等）。山中湖村在住。

藤井 敏嗣 (ふじい・としつぐ) 氏
山梨県富士山科学研究所 所長



福岡県生まれ。東京大学大学院理学系研究科地質学専攻博士課程修了。東京大学地震研究所所長、東京大学理事・副学長等を歴任。2014年より現職。火山噴火予知連絡会会長や日本火山学会会長を務めた火山防災の第一人者。専門はマグマ学、岩石学。

堀内 茂 (ほりうち・しげる) 氏
富士吉田市長

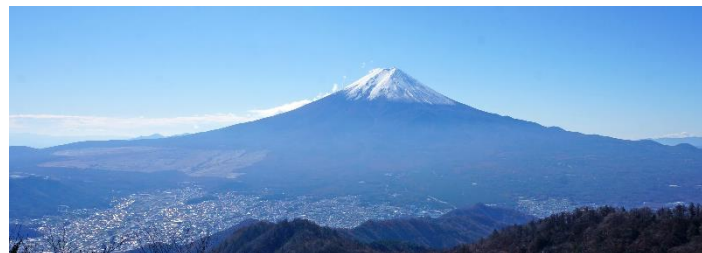


東京都生まれ。日本大学経済学部卒業。(株)ホテルオークラ、富士急行(株)を経て、1987年4月～1991年4月 山梨県議会議員、1997年12月～2005年12月山梨県人事委員会委員。2007年4月富士吉田市長に就任。現在4期目。

山本 清龍 (やまもと・きよたつ) 氏
東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授



高知県生まれ。東京大学大学院農学研究科博士課程中途退学。若手大学農学部准教授等を経て2017年10月から現職。富士山吉田口環境保全推進協議会 顧問、富士山利用者負担専門委員会委員等、富士山の適正利用に助言。専門は公園計画、観光地計画。



参加申込方法

参加ご希望の方は、①氏名、②電話番号、③FAX番号（FAX申込みの場合）、④お住まいの市区町村名、⑤他の参加者氏名をご記入の上、「FAX」または「メール」でお申し込みください（11月11日〆切）。

FAX 055-223-1651

メール brand@pref.yamanashi.lg.jp

シンポジウム「明日の富士山を考える」参加申込書

代 表 者		その他の参加者氏名
(ふりがな) 氏 名		
電話番号		
FAX番号		
お住まい	市 区 町 村	

※いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営に関する事務以外には使用しません。

お問い合わせ：山梨県 知事政策局 地域ブランド推進グループ（電話：055-223-1584）